未来を描き、夢をかなえる

地域とともに、地域社会の未来をデザインする

滋賀銀行は、琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として、従来から「環境経営」に力を入れてきました。環境対応型金融商品やサービスの開発・提供など、金融の役割を通じてお客さまの環境への取り組みをサポートし、持続可能な地球環境づくりに取り組んでいます。世界は今、気候変動リスクや海洋汚染など地球規模での環境問題に加え、誰もが将来的にも安定した暮らしを営めるように持続可能な発展が求められており、当行の取り組みは国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）と同じ視線を持っています。

持続可能な地域社会の創生を目指す当行は、2019年4月にスタートさせた第7次中期経営計画（2024年3月まで）で初めて、サステナビリティビジョン（長期ビジョン）を掲げました。目指すべき地域社会の姿を「自分らしく未来を描き、誰もが幸せに暮らせる社会」と定め、地域との共創による持続可能な社会の実現にまい進する覚悟です。そのために、今次中計のメインテーマは「未来を描き、夢をかなえる」とし、当行が目指す姿を「Sustainability Design Company」としました。地域の皆さまと共に地域社会の未来をデザインし、「Bank」の概念を超えて地域になくてはならない「Company」になるとの決意を込めています。

サステナビリティビジョンでは、「地域経済の創造」「地球環境の持続性」「多様な人材の育成」の3つを取り組むべき重点項目と捉えています。経済と環境、人を結んで統合的発展につなげることで、経済的価値と社会的価値を創造し、両立させて「共有価値」を生み出し、地域社会の発展に尽力してまいります。

本「CSRリポート2019」では、地域とともに持続可能な未来を切り拓くためのさまざまな取り組みを紹介しています。皆さまには、是非ご高覧賜りますとともに、当行のCSR活動に対してより一層のご支援をお願い申し上げます。

以上

取締役頭取
高橋 祥二郎

Sustainability Design Company